

潮流



時代（次代）への変革

株式会社岐阜セラック製造所

代表取締役社長

尾木 大

（岐阜セラック製造所の社名にある「セラック」をご存じの方は、おそらくいらっしやらないと思います。今でも「セラミック」とよく間違われる「セラック」という物質は、昔、音楽を聴く際に使用したレコード盤（SP盤）の主原料に使われていた、と言うと多くの方は懐かしいのではないのでしょうか。今では私たちの身の回りはプラスチックで溢れています。プラスチックが世に出る前は「セラック」

プラスチック製のLP盤がSPレコード市場を徐々に侵食し始め、ついには当社のセラック生産量も激減することになります。

セラックは①耐酸性に優れ人体に無毒無害（FDA認可）、②塗ると膜を作りニスのような光沢を持つ、③有機溶剤に耐性がありアルコールにのみ溶解する、④天然由来で生分解性に優れサステナブルである、というプラスチックにはない

経営からもシフトすべく『脱セラック』の新製品開発に取りかかりました。その先輩方の先見の明もあり、塗料原料やインキ原料が見事に当社の主力事業となり、今ではコーティング業界では名が知れた「合成樹脂メーカー」へと変身することができたのです。皆さんが使われているスマホやゲーム機、ノートブックの傷付防止剤の塗料、生活用品のパッケージに印刷されているインキにはかなりの割合で当社の製品が使用されるようになりました。当時もしセラック事業だけに拘っていたら、時代の波に乗れず完全に淘汰され、現在の当社はなかったと言っても過言ではありません。

しかし、現状も決して安心、安住はできません。ネット宅配で商品パッケージは簡略化され印刷は激減、自動車内装も塗装レスが主流となりつつあります。昔、当社がセラック以外の事業へと転換したように、また新たに事業の方向性をシフトする時が来ています。

今の時代は過去にない程、スピードを増して激変しています。アナログからデジタルに変革しただけでなく、自動車は空を飛び、AIが人間の脳を超える時代がすぐそこに来ています。今の既存の技術を『深化』させるのはもちろんのこと、来る新しい時代に合わせて私たちも『新化』し、永続的に会社を『進化』させていかねばなりません。

が先輩の天然プラスチックとして使用されていたのです。その証拠に奈良の正倉院には、宝物として今でも大切に保管されています。

当社の創業は戦後間もない1947年。当時はレコードの最盛期であり、当社も24時間365日のフル生産で、文字通り休み返上で生産ラインを動かしていました。しかし、良いことは長く続かないもので、直後に発売された

4つの素晴らしい特徴があるため、当社はチヨコレートや胃腸薬、健康食品、サプリメント向けの医薬食品コーティング剤としての用途開発、加えて重工業向けや建築資材向け用途開発など『脱レコード』へ事業の方向性を大きくシフトしたのです。さらには、セラック自体が近い将来、間違いなく『プラスチックに市場を占有される』と強い危機感を持った創業メンバーは、セラックのみに依存する